



金谷川小だより

かなやがわ小フランドの創造

令和3年 1月13日
福島市立金谷川小学校
児童数 81名
校長 宍戸 与一

希望をもって、一步一步着実に。

宍戸 与一

感染リスクを減ずる目的から、当初の予定より4日遅れて3学期がスタートしました。今年の冬休みは、ご家庭でゆっくり過ごす時間が長かったのではないのでしょうか。昨日は、全員の子どもの姿を見ることができ、ひと安心しました。

昨年は、例年行われてきた学校行事も、中止になったり、延期になったりで、子どもたちも、ストレスを感じながらの生活であったと思います。確かに、マイナス面も多く感じられますが、プラス面もいくつか見られました。まず、子どもたちが健康な生活についての意識を高くもつことができたことです。日々の体温チェックなどを忘れずに行ったり、給食中など、マスクを外さなければならない時のおしゃべりを控えたり、校外学習等で、公共の場所を利用した時、周りの状況を見て、できるだけ距離を取ったり、おしゃべりをしたりせずに行動したりすることができました。これらのことができていなくても、一度声をかけるとすぐに実行に移すこともできました。

新型コロナウイルスの感染状況については、予断を許さない状況が続いています。学校では、3学期もできうる限りの対応をとっていきます。ご家庭でも、以下の内容について、改めてご協力をお願いします。いつもお願いしてばかりで申し訳ありません。子どもたちが元気で登校するためにはご家庭のご協力が必要不可欠です。本年もどうか、よろしくをお願いします。



- ① 休みの日を含めて、健康観察記録表の記入は確実に行ってください。
- ② 発熱等、風邪症状がある場合は登校を控えてください。
- ③ 同居のご家族が濃厚接触者に指定されたり、PCR検査を受けたりする場合は、必ず学校にご連絡ください。
- ④ 学校外のスポーツ活動や習い事等においても、学校と同じように感染予防対策（マスクの着用、向かい合って食事をしない等）をお願いします。

感染された方や医療に従事される方、さらにはそのご家族に対する差別や偏見といった問題が起きているようです。安心して暮らせる日が来ることを信じて、みんながお互いに思いやりの心をもって助け合っていきたいものです。



今年の干支は「辛丑（かのとうし）」。「痛みを伴う幕引き」「殻を破ろうとする命の息吹・希望」の年とのこと。辛抱強く、そして力強く一步一步前進していく牛のイメージのように、「禍を転じて福と為す」希望の年になりますように。